

はじめに

この度

運営委員会、副委員長を仰せつかりました
網走ライオンズクラブ所属のライオン笈田壽一でございます。
一年間、宜しくお願い致します。 オレカ

それでは、

運営委員会から、ZC の皆様に役割についての説明と、お願いが
御座いますので、宜しくお願い致します。

現在、

各地のライオンズクラブは、高度成長がもたらした飛躍的な発展の
時代は終わりました、停滞感が漂う、大変厳しい時代に直面して
居ります。

又、ライオンズ必携 61 版の大幅な改正に示されます様に
日本のライオンズクラブは、大きな変革の時を迎えて居ります。

今まで、非常に評判が良かった、運営の仕方や事業活動も世の中の
状況が変われば、実情にそぐわない、説得力に欠けたものに成って
来ますので、その対応策として、組織の形態や会則等も随分と
流動的に変化して居ります。

この様な変革の状況の中で、

ゾーンの最高責任者として、地区ガバナー諮問委員会を取り仕切る
議長として、ゾーンの運営に対して、前例にとらわれずに柔軟な
対応とガバナー方針のスムーズな運営のために、ゾーンの合意形成
に意を尽くして、地区の重点目標達成を推進する、ZC の役割が一層、
重要に成って参りました。

前任者との引継ぎ

まず、

1. ZC の皆様にやって頂きたいのが、自分が担当するゾーンの現状を見極める為にも、前任の ZC との引継ぎであります。

合同開催と成ります、ガバナー公式訪問は、各地の ZC が中心的役割りを果たさなければ成りませんので、役務の分担等、入念な準備が必要に成ります。

又、ガバナー公式訪問は、ガバナーの所信表明を直接、聞くと共に、親しく接する絶好の機会ですから、多くの出席を迎える配慮が必要です。

ガバナー諮問委員会につきましては、前期、運営方法等について色々、議論が有りましたので、任期中に運営上の問題点や直面した、懸念事項は無かったか等について、アドバイスを貰って下さい。

国際協会、会長方針や地区ガバナー方針が決定すれば、ZC クラブ訪問が有ります。訪問の際は挨拶だけに、とどまらずクラブ役員と地区ガバナー方針等について、意見交換してコミュニケーションを取って下さい。

各リジョンやゾーンには、親睦を兼ねた ZC 主催のゴルフ大会やパークゴルフ大会が有りますし、その地域、固有の慣行となっている、外の行事があるかも知れません。

又、ZC や地区マーケティング、YCE 委員のローテーションや長年、解決出来ずに申し送られている懸案があるかも知れませんので、入念な引継ぎを早めに行って頂きたいと思いますし、

ZC の事務手続きや、弔辞の拝読等につきましても、直接、前任者から具体的に説明を受けた方が、スムーズに行くと思いますので、宜しくお願い致します。

地区ガバナー諮問委員会

次に

2. 最近、国際協会や日本ライオンズの方向性や地区のやるべき事について、具体的な説明がクラブまで十分に伝わっていないのではないか、と思われる、各クラブからの質問事項が議事録等に掲載されます。

実は、各種の情報はウェブサイトやホームページ等で、詳細に開示はされて居りますが、問題意識を持って積極的に、それを取りに行く会員は残念ながら、限定されているのが実情の様であります。

せめて、身近に居る ZC に相談して頂ければ、概ねの事は解決するはずですので、残念でなりません。

ZC は地区とクラブの架け橋的存在であり、身近な連絡窓口として地区から発信されるメッセージをクラブが確実に受け取り、理解出来る様、サポートする役割を担って居ります。

各クラブに取りましては、一番身近な、ガバナー諮問委員会から発信される情報や指示が、唯一の情報入手の手段であると同時にクラブに取りましては、具体的に活動していく為の指針と成る訳でありますから。

ガバナー諮問委員会では、キャビネット会議での決議事項や協議事項については、余談を挟まず正確に決議に至った背景や経緯も含めて説明して、事案を共有して下さい。

その為には、議案の内容について、誤解等生じない様に入念な調査、研鑽をして委員会に臨まれる事が望ましいと思います。

ガバナー諮問委員会は、一方的な報告ではなく、地区ガバナーの方針や政策について、地区の構成員であるクラブ会長や幹事から意見を聞いて、キャビネットの運営に反映する大切な機会でもあります。

出席者が新しい方針や情報を得て、議案についての説明を聞いて検討を行なえる場でなければなりません。

クラブの運営等について、意見を交換し合い、お互いの問題について共同で解決策を検討する場でなければなりませんので、

議案に依っては、それぞれの施策に精通している G.A.T のコーディネーターを招へいして、諸問題の解決策について支援を仰ぐ事も大変、有効な方法だと思います。

又、ZC は G.A.T の正規の構成メンバーである事を忘れてはなりません。

これに依り、地区の奉仕へのインパクト、会員増強とリーダーシップ育成にかかわる課題解決等に連携して、一貫した方法で取り組まなければなりませんので、G.A.T とは平素から密接に情報交換を行ない、コミュニケーションを取っておく事と、リジョンの役員であります地区マーケティング、YCE 委員とも連携を密に保って頂きたいと思います。

G.A.T と連携して、会員の維持と増強

(ミッション 1.5 への対応)

3. 私が 10 年前、留萌キャビネットで ZC を務めました、
当時、地区のクラブ数は 85 クラブ、実にこの 10 年で
14 のクラブが無くなりました。
会員数も 1,000 人近く減少して居ります。

それぞれのクラブが長年に亘り、元気に活動が続けて、クラブの活性化を図る為には、会員増強と言う新陳代謝が必要でありますので、どこのクラブも会員増強は喫緊の課題として、取り組まれて居ると思いますが、

現下の経済情勢や社会情勢の激変と、少子高齢化に依る人口減少等の著しい社会環境の変化に依り、苦戦を強いられて居ります。

昨年、ミッション 1.5（ワンポイント・ファイブ）が開始され増え続ける地域社会のニーズに応える為、世界中で会員数 150 万人を 2027 年 7 月までに達成しようと、会員を増やし新たなクラブを作る事を最優先課題として、向う 4 年間に亘って取り組んで行こうという、取り組みが世界レベルで展開されて居ります。

331B 地区でも前期から、G.A.T の全チームが一丸と成って、会員増強に特化した、あらゆる活動と退会防止と新クラブ結成に全力で取り組んで居ります。

これまでの縦割りの活動から横軸の繋がりを強化して、全てのチームが密接に連系して、会員増強とクラブ活動の活性化への支援に取り組んで居りますが、この施策の意義を説明しながら、その推進役と成る、ZC の役割が一層、重要に成って参ります。

例えば、ミッション 1.5（ワンポイント・ファイブ）のプログラムと成って居る G.M.T が推し進める SWOT 分析を ZC が諮問委員会やクラブ訪問等の機会に、クラブが会員増強の手段として、積極的に取り入れる様、推奨して見てはどうでしょうか。

SWOT 分析の手法を使って、クラブの強みを強化して、弱みを克服する方策を探って行けば、何か見える物が変わって来るかも知れません。

G.L.T コーディネーターを招へいして、スキルアップの為のセミナーや研修会はどうでしょうか。

これはほんの一例ですが、この様に ZC が G.A.T と力を補完し合い、両輪と成って行動を起こす事が大切であります、ZC の皆様がクラブ役員として、身に付けた貴重なスキルを大いに発揮されて、リジョン内の ZC とも連携して、ゾーン内クラブの発展と活性化を支援して頂きたいと思います。

LCIF について

(ライオンズ・クラブ・インターナショナル・ファンデーション)

このファンデーションの意味は、土台や基礎と訳されます。

ZC の重要な役割に、地区 LCIF コーディネーターと人道奉仕活動に関する情報を共有して、LCIF への理解を深め、善意の協力を推進する事があります。

LCIF については、クラブ等で余り語られる機会が多くありませんが、LCIF はライオンズクラブが行なう、あらゆる奉仕活動の基礎を支えるものであります。

LCIF の活動は、暗闇の中の希望のともしびとして、地域社会や世界中の困難に泣く、人々の痛みを和らげ、癒しと希望を届ける為の献金でありますので、

諮問委員会やクラブ訪問等の機会に、LCIF の重要性や交付金の制度等を丁寧に説明して、理解を深めて頂きたいと思えます。

以上、運営委員会からのお願いであります。